

東久留米市立第三小学校 地域に信頼される『我が町の学校』



学校経営方針

平成 23 年 4 月 1 日 校長 稲垣 達也

1 学校経営の基本方針

教育は人であり、学校は組織体である。互いに信頼し合い、協働の和のもとに、真の愛情をもって率先指導にあたってこそ、生き生きとした学校教育が推進されるものとする。

未来の社会を形成する子供を育てる仕事は、未来からの負託であり、教育の結果に責任を持たなければならない。そういう真の誇りと使命感を持ったプロの職員集団こそが、保護者・地域の信頼と尊敬を集め、『我が町の学校』を形成していくのである。

子供を大切にするように、教職員を大切にしたい学校でありたい。

教育理念

- 1 子供は、未来の守護者（将来の社会を担う者）である。
- 2 教育は、未来からの負託を受けた責任ある仕事である。
- 3 職員は、仕事に自ら付加価値を付けてこそプロである。

また、学校の判断基準は、常に「子供にとってどうか」である。子供にとってよりよい教育を行うのが学校であり、子供一人一人が大切にされ、一人一人が活かされなければならない。そして、子供にとって本当に必要なことを、全力を尽くして取り組む学校でありたい。必然的に、子供たちは期待感を持って、毎日学校に登校するであろう。

基本方針

- 1 学校は安全であること。そして安心できる場であること。
- 2 子供たちが通いたくなるワクワクする学校であること。
- 3 義務教育としての責務を果たすこと。
〔確かな学力、豊かな心、たくましい体〕の保障

もとより、これらを具現化するのは教職員である。私たちは教育に携わるものとして、ふさわしい人格と教養を、そして教育指導職としての力量とを身に付けるよう、研究と修養に努めることはいくらでもない。それとともに、教職員にとって大切なことは、心のもちようではないだろうか。

心の在り方

- 1 心豊かに：ゆとりある教師の心は、子供たちに安らぎを与える。
- 2 愛情豊かに：求める心よりも与える心を優先にして、温かく包み込む。
- 3 言葉豊かに：相手の気持ちを常に慮れば、言葉は自然と優しくなる。
- 4 表情豊かに：豊かな柔和な表情は、教師と児童の心を結ぶ鎖である。

さらに、下記の調査研究等に協力することにより、本校の教育の活性化と質の向上につなげていく。



研究・調査

東京都教育委員会	言語能力向上推進校（3年間の1年目）
東久留米市教育委員会	学校図書館活用研究奨励校（1年間）
東久留米市教育委員会	学校関係者評価モデル校（2年目）
全国学校図書館協議会	商用データベース事例研究実践（2年目）
株式会社エルモ	実物投影機活用実践（2年目）

2 学校経営の重点

今年度より新学習指導要領が完全実施される。今回の改訂は、教育基本法などの法改正を根拠としており、「法令等に掲げる目標を達成するよう教育を行う必要がある」という視点がいっそう明確になった。これは「履修原理」から「習得原理」への転換とも言え、教育の保障、結果の責任として、何を学ばせたか（教えたか）ではなく、“どんな力を付けさせたか”が、いっそう問われている。

教育目標

よく考える子（重点）

基礎・基本を身に付け、自ら考え、創造力・表現力に富んだ子供
なかよくする子

進んで挨拶ができ、自らを律し、他人と協調し合う心豊かな子供
元気のよい子

基本的な生活習慣を身に付け、心身共に健康で活力に満ちた子供

経営の重点

- 1 家庭・地域・専門職等との協働による教育の推進
- 2 学校関係者評価・P D C Aの活用による学校改善
- 3 学校図書館活用による読書と言語活動の充実
- 4 実物投影機の活用による授業改善と学力向上
- 5 習得・活用の徹底とともに探究的な学習の充実
- 6 知・徳・体を柱とした生きる力の育成
- 7 教育相談体制の強化と特別支援教育の充実
- 8 人事考課制度、校内研究、O J T等による教員育成
- 9 組織の活性化と会議の充実・精選、服務規律の徹底



教育目標及び経営の重点の具現化

主な取組み

家庭・地域と
共に育てる

家庭の教育力の活用
家庭の教育力の向上
地域と連携した教育
情報発信・情報収集
学校関係者評価

学校支援ボランティア(学校図書館、トイレ掃除、見守り隊)
早寝・早起き・朝ご飯・外遊び、家庭読書、親子でお弁当作り
金管バンド、お琴、ダンス、環境教育(落合川、稲作 etc)
学校HPの充実、ブログ化による学校情報発信、学校公開
学校関係者評価、学校行事アンケート、児童による授業評価

教育環境の充実と
教育の質の向上

学校図書館の活用
教育の情報化
確かな学力の保障
探究的な学習の充実
英語活動の推進

蔵書管理システム、司書配置、言語活動の充実、教科等で活用
大型TVと実物投影機の活用、教員用ノートPCの活用
授業規律の徹底、学力の把握・検証、習熟度別指導の充実改善
総合的な学習の時間、地域・学校研究、調べる学習コンクール
A L Tの活用、イングリッシュルームの整備

未来の守護
者を育てる

外部人材の教育活用
S C・S S Wの活用
特別支援教育の充実
人権教育・道徳教育
体力向上・遊び
情操教育の充実

関係機関による出前授業、学校図書館顧問、学生ボランティア
早期発見・早期対応、学校サポートチームの設置
副籍による交流学习、共同学習、個別指導計画の充実
道徳教育推進教師の活用、青少協等との連携教育
体力向上実技研修、日常遊びを通じた体力向上、マラソン
図画工作展、音楽集会、児童集会の充実、掲示物の充実

信頼される
教職員

子供の安全・安心
教員の資質・能力向上
迅速な対応
真摯な姿勢
組織の活性化
小中一貫教育

安全マップ作成、安全管理のシステム化、情報モラル教育
若手教員育成、校長による啓発資料発行、O J Tカード
教育公務員として服務の厳正、初期対応に全力を尽くす
指導のノウハウではなく「誠意」、子供・保護者と真摯に向き合う
一人一役の係ではなくチームで協働、会議の充実・精選、時間の工夫
教職員同士のギャップを埋める、小中の教員が一体となる

3 教職員の姿勢・目標

教職員に期待すること

この二つがあれば十分	子供を愛する。 仕事を愛する。
期待することは	真摯な姿勢で仕事をする。 本校に勤務していることを誇りに思う。 仕事が生き甲斐である。
組織人として	互いに気配り・気遣ができる。 失敗を恐れない。 教育ニーズを見つけ実行して解決する。 積極的に学校経営に参画する。
人として	鋭い人権感覚をもつ。 児童のよさや可能性を認め、笑顔で期待を示す。 相手を慮る言葉、表情、心で接する。
教師として	危機管理・情報管理に敏感である。 研究と修養に努め、常に自分自身の資質の向上を図る。 使命感・熱意・指導力・実践力・統率力を磨く。
職員として	教育公務員としての自覚をもつ。 全休の奉仕者として使命を全うする。 困ったことすぐに相談する。 ミスは出来るだけ早く報告する。
欲を言えば	先例がない、だからやる。 できない理由(言い訳)を考えない。 できない原因をつぶしていく。

校長として努力すること

校長の姿勢	勤務校を愛し、職員を大切にする。 率先垂範の姿勢を大切にする。 指示命令も必要だが、校長自らが動くことも必要。 情報収集を怠らない。校長の判断ミスは致命傷である。
校長の日常	朝、校長は玄関で子供を迎える。教員は教室で子供を迎える。 明るくあいさつ、はつらつとした姿勢で1日を始める。 教員や子供から声をかけられたら、すぐ対応する。 「後で」「ちょっと待って」は言わない。 校長の思いを常に発信し、職員室での話題の質を向上させる。 校長便りを毎日発行する。
授業観察	1日1回、必ずどの教室にも顔を出すようにする。 その都度、各学級の様子、学習内容等を簡単に記録しておく。 年間4回以上の授業観察を行う。 授業後、良かったことを含めて指導・助言する。
対応・記録	問題と感じたことは、最優先で対応する。初期対応がすべて。 全校で共通理解するために、毎日夕会を行う。 気になる子供を話題にすることを常とする。 記録を日常化し、保護者対応・事故報告等は共有する。 校長が関わったことは必ず記録に残す。
サービス	サービスに関わることは繰り返し述べる。 職員のサービス事故はすべて校長の責任である。